

# さわやか通信

平成 30 年 4 月 1 日発行

No.17

## あるがままに

## 楽しく

## ゆったりと

### 株式会社ウェルフェアネット

会社設立	平成 12 年 12 月
代表者	代表取締役 平山正明
事業内容	福祉事業全般 筑紫地区を中心に グループホーム 小規模多機能型居宅 介護施設の運営を主たる事業としている
基本理念	住み慣れた地域で安心して健やかに暮らせる老後をお手伝いします
基本方針	利用者おひとりおひとり、その人らしい生活に日々「寄りそう」

さわやか憩いの家 大野城中央

利用者 Nさん



絵・今村耕平



## 平成三十年度を迎えて



代表 平山 正明

本年度は、市の指定を受け、さわやかテラス大野城中央の二階をようやく増設することができ、これまで、ご希望やご要望を多数頂いた皆様にご連絡が出来る次第になりましたことをご報告致します。

今年、「介護」「医療」「障害」と同時改正の年となります。第七期の介護保険制度改正の内容に、医療との更なる連携と、在宅に向けてのサービスの充実、Aーを使ってケアする側の人材不足を補うようななどの制度改正がなされますが、一方で、厳しい運営状況になる分野もあることに、考えさせられる改正になると思います。その中で、地域格差が更に生じてくるのが考えられる中に、さわやかテラス・さわやか憩いの家が、地域密着型サービスとしてやっていく必要があることは、いかに周囲から必要とされる場所になるかという事です。また、どのような制度改正がなされても、スタッフ一人ひとりが「人」を考える努力をすることが必要です。そうすることが、稼働率が上がり、しいては、安定に繋がります。

また、今年は社内的にもキャリアパスを活用し、雇用形態の見直しも行いながら、スタッフの意欲やキャリアア

ップを積極的にできるよう、働きやすい職場づくりも目指しています。

方針に沿って働いてくれているスタッフが、長く勤めてくれていることが宝だと感じています。一方で、これまで大切にできてきた、入居者・利用者の皆様が身をもって教えて下さってきたおもてなしの心や、相互扶助の精神、季節を感じることも含め、継承していかなければならない『心』をおろそかにしてしまっているのもまた現実です。スタッフの育成に関しても、課題にしながらか昨年発刊した『鍵をかけるないケア』の本を育成に活用し、生活の継続、みとりについて、家族支援など、これまでの関わりからの学びを家訓に沿って、各責任者が伝えていく努力をしていきます。

「平成」と言われる時代も残りわずかとなりますが、未来を見据え希望と和のある時代になることを願うばかりです。

本年度も、「あるがままに 楽しく ゆつたりと」の家訓を大切に、入居者・利用者・ご家族の皆様・地域の方々にとって、ここがよかったと思つて頂けるような、さわやかテラス・さわやか憩いの家であるよう邁進致します。今後とも、どうぞよろしくお願致します。



さわやかテラス春日 玄関前のちいちゃんの木

## 【大牟田市認知症

### コーディネーター養成研修】

昨年六月から、大牟田市認知症コーディネーター養成研修の市外枠で参加しています。二年間学ぶことができ



る貴重な研修です。パーソンセンタードケアを基本に学び、徹底して当事者視点と専門的な知識を、全国の一流の講師の方々から学びます。また、大牟田のSOSネットワークの模擬訓練や、絵本教室、予防教室にも参加し、大牟田での取り組みを学びました。一年目の締めくくりに熊本県山鹿市の小規模多機能居宅介護施設に実地研修に行くことができ、自宅で暮らし続けることを支え、ご本人の意思を大切にすることを学びました。

この一年で、私の中で変化があったのは、家族支援の場面での背景の聞き取り、病気の理解と生活やこだわりのアセスメントができるようになったと感じます。さわやかテラス・さわやか憩いの家で出来ていると感じていても、根拠がなかったり、スタッフと共有するにも、今の姿しか見えなかったりしていました。こうした大きな学びがあることに感謝ばかりです。

残り一年、しっかりと学び今年は現場のスタッフに還元しながら、一緒に体感、感動し根拠あるケアに繋がることのできるように努力します。

(さわやかテラス二日市・さわやか憩いの家二日市)

統括責任者 田中順子

## 【災害広域相互支援】

熊本地震から間もなく二年になろうとしています。昨年五月に、熊本の夢の架け橋グループと災害広域相互協定書を結びました。何よりも共通して意識をして考えたことは、認知症の方に優しい協定書を作り上げることです。一年間相互研修を通し、互いの事業所の実情を知る事ができたことや、互いの施設の備蓄品や施設の機器、まわりの環境が異なる中で、実際に災害が起きた時にスムーズに支援や専門的ケアに移る事ができると感じました。

現在、夢の架け橋との合同の防災会議を繰り返し行う中で内容を検討し、認知症に特化した、より良いものを作ろうとしています。今は二事業所で締結をしていますが、今年度中には締結する事業所を増やしていきたいと考えます。

(さわやか憩いの家春日 市山実)



## 【さわやかセラピスト】

ウェルフェアネットには現在二十三名のセラピストがいます。毎年フォロアップセミナーを受講し、技術の確認と情報の共有をしています。改めて「手のぬくもりは心のぬくもり」という秋吉代表の言葉をいただき、それを実感しながらケアに努めています。





## 研修報告

### 【韓国研修】



今年は十年勤続のスタッフ五名が十一月十六日～十九日の四日間、韓国へ研修に行かせていただきました。韓国は急速に高齢化が進み、介護保険制度改革が進められています。

研修はソウル市にある清岩総合福祉館を見学し、お互いの取り組みについて事例発表を行いました。私たちは、外部評価や地域評価などの第三者評価を受けることで、介護の質の維持の向上が図れているという内容で発表をしました。

清岩の方からはデイケアでの身体機能の向上、または維持を目標としたレクリエーションについての発表でした。お互いの発表を終え、認知症の方への対応はどの国でもたくさん課題があることを感じました。

この研修を通して、人・食・文化に触れ、韓国の福祉について貴重な体験をさせていただきました。

(さわやかテラス大野城中央 原田 寛史)



### 【在宅ホスピスフェスタ

#### ーN久留米



三月十一日、久留米市石橋文化会館にて、ふくおか在宅ホスピスをすすめる会主催の在宅ホスピスフェスタ2018に参加しました。「住み慣れた家で最後まで暮らしたい」そんな想いをみんなで支えるのが「在宅ホスピス」です。

基調講演は、「こだます いのち」という演題で、すえなが内科在宅診療所院長の末永和之先生の講演でした。在宅は生活の場であり、人生を過ごした自分の終の棲家で終えたいという願い、それは「医療目線にならない」「生活の中の存在」「管理からの脱却」、その人の人生に対する考え方・生き方・人生観を尊重していくことの大切さを学びました。

また、さわやか憩いの家春日で六年間関わった利用者さんの娘さんが「最期はできれば自宅での生活を叶えてあげたい」との気持ちで悩み、葛藤を続けながらも自宅でのみとりをされた実践報告をしました。アカペラ音楽コンサートに心癒され、末永先生のいのちの言葉が心に染み渡る貴重な空間でした。

(さわやかテラス春日・さわやか憩いの家春日)

統括責任者 平原由香

### 【認定NPO法人ホームホスピス宮崎主催 介護職ができる看取りケアセミナー】

三月十日に宮崎県の宮崎市民ホールにて、介護職ができる「看取りケア」セミナー「最期はここで」を支えるために〜という公開講座が行われました。講座では、NPO法人神戸なごみの家理事長の松本京子さんが多職種連携によるチームアプローチの課題を、また、宮崎ホームホスピスからあさんの家でお母様を看取る経験をされた、ご遺族の方より体験談を聞くことができました。



さわやかテラス統括執行役員、山城がグループホームさわやかテラスにおけるみとりについて話しました。「介護」「看護」「医療」を通し、支えながらさりげない暮らしを支援するという貴重な話が聞けました。次の日は、ホームホスピスカあさんの家を見学させていただきました。一人ひとりの当たり前の生活を大切にしていくということ、医療職や介護職と違いはあっても連携し協力していくことがご本人のためのケアに繋がるということを感じることができました。



(さわやかテラス春日 菅原 加穂)

### 【セラピーティック・ケア施設 セラピスト資格取得養成講座】



二月六日から三回にわたり第三期のセラピーティック・ケアセラピストの養成講座がありました。今回は男性スタッフ四名、女性スタッフ六名が受講しました。セラピーティック・ケアとは「治療力のある介護」手のひらだけで安らぎをもたらすメンタルケアです。洋服を着脱することなく行えるため、いつでもどこでもすることが出来ます。

講義では施術の練習を繰り返して行いました。手順を覚えることだけでなく精一杯でしたが、受け手になった際は洋服の上からでも手の温もりが伝わり、とても心地がよくなり、肩の力が抜けてリラックスしていました。人の温もりを感じられることの大切さを実感しました。手順もそうですが、力加減など自信がなくなるとどういこともありますが、お年寄りの皆さんに少しでも温もりや心地よさを感じて頂けるようになりますと思います。

(さわやかテラス二日市 山本明佳)



### 【認知症ケア専門士会 活動報告】

三月六日に第三回認知症ケア専門士会を行いました。ウエルファネットでは、二十名が認知症ケア専門士の資格を取得しており、三ヶ月に一回の勉強会を行っています。認知症ケア専門士として認知症ケアについての技術知識を深める事、また情報の交換の場となる事を目的に行っています。

今回は、以前「喫茶いこい」で講話してくださった、たかもり薬局の薬剤師の方に軟膏の使い方講座をして頂きそれを上映しました。わかりやすく、すぐに活かせることができました。知識を高め合うことができ、刺激にもなっています。

勉強会で学んだことを、現場に活かしていきたいと思っています。

### 【NPO福岡県高齢者GH協議会 出前講座「どこでも行ってGOO!」】

出前講座の講師で若年性認知症コーディネーターとして活躍されている、中村益子さんが来てくださいました。

各事業所をまわり、「家族支援の在り方」について、いろいろなエピソードを交えて話をして頂きました。

入居者・利用者さんと家族との架け橋となれるよう、また頑張りたいと思います。





—あの日・あの時—

私が介護の世界に興味を持ったきっかけは、随分前の話になりますが、最近閉店した天神のプリンスで働いていた時のことでした。ランチタイムにはデパートの店員さんや、サラリーマンがドツと押し寄せて、十二時過ぎには地下から三階まで瞬間に満席になっていました。その中で、必ず満席になった頃にいらつしやるおじいちゃんが居ました。その方は車イスを左足のみで自走しておられました。今思うと、脳梗塞の後遺症による右半身麻痺でおられたのだろーと思ひます。私は車イスの押し方も分からずに慌てていると、「いいよ、いいよ。」先に待っているのに一階のカウンター席が他のお客様に取られてしまつても「いいよ、いいよ。」と言つてくださり、一時間以上も席が空くのスポーツ新聞を読みながら待つてくさいました。長年待つてくさいしているお得意様なので、鶏肉は切つてお出ししたり、スプーンをご用意したり、家を出てから天神まで来られる過程で、もしかしたらいつもたくさん見守つてくれる方が居て、この方は自分らしく、ここに居ることを生きがいとしておられるのではと思ひました。その前に車イスの動かし方も分らない、一生懸命話しておられることを全く理解できない自分を恥ずかしと思つたのがきつかけです。ずっと忘れられず、何年もあとに思

い立ち勉強を始めました。今は、たくさんのお年寄り、スタッフの方々と出会うことができ、より多くのことを学ばせていただいております。これからもお年寄りに寄りそつて、その方にとつての生きがいを支えていきたいと思ひます。

(さわやか憩いの家二日市 佐伯 由美子)



八十八歳Kさんの作品

◎百歳ばんざい

平成三十年三月二日。

さわやか憩いの家春日をご利用の、八木トモ子様が百歳の誕生日を迎えられました。

「ご家族、スタッフと盛大にお祝いしました。」

いつまでも元気で過ごしてください！



編集後記

今回の編集後記の担当に決まり、自分のことを振り返つてみて思い出したことがある。

私が中学生の頃、母方の祖母が老人ホームに入所した。認知症になっていた祖母は、母の顔も名前も忘れ、自分のことを十代の少女だと思つていた。

私は母と祖母の会話を聞きながら母の気持ちを考えると涙が止まらなくなつた。「なんで自分が産んだ子供の名前を忘れるんだろー」と悲しいやら寂しいやら複雑な気持ちになつたことを覚えてる。

そんな私も今ではウェルフェアネットのスタッフとして働かせていただいている。

認知症という病について勉強し、入居者、利用者の方と関わつていく中で、認知症の方のその場その時の感情をくみ取り、その方の『今』を大切にすること、お互いに良い関係が築けるといふことを学んだ。関わりの中で認知症の方のいろんな一面を見せて頂き、時には注意を受けることもあるけれど、「あなたの顔を見たらほっとするよ」「名前は覚えとらんけど、あなたのことはよく知つてる」と嬉しい言葉もかけてもらえる。あの頃の私に教えてあげたい。「大丈夫、嬉しい事も楽しいこともたくさんあるよ」と。

(さわやか憩いの家大野城中央 宮内幸)

(広報担当) 田中順子・石丸雄司・菅原加織

宮内幸・山本明佳

ウェルフェアネット30年度の活動

社外研修・セミナー参加

日本ホスピス・在宅ケア研究会  
デンマーク研修・韓国研修  
日本セラピューティック・ケア  
日本認知症ケア学会  
全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会  
九州地区での各種研修  
他事業所との合同研修

各団体との関わり

福岡県高齢者グループホーム協議会  
筑紫地区介護保険事業者連絡協議会  
福岡県介護福祉士会  
安心サポートネット  
ホスピス緩和ケアネットワーク福岡  
筑紫地区小規模多機能連絡協議会

地域との関わり

各地域の自治会・育成会・老人会等  
地域の保育園・小学校  
民生委員・福祉委員  
各地区の地域包括支援センター  
筑紫野市介護を考える家族の会  
春日市介護を考える家族の会  
「ひだまりの会」

相談会や講座開催に積極的に協力

認知症介護指導者  
認知症サポーター養成講座  
社外実習生の受け入れ  
公民館活動との連携

災害広域相互協定の推進

筑紫野市

グループホーム

さわやかテラス二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺533-1  
TEL 092-918-0045 FAX 092-918-0255

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家二日市

〒818-0042 筑紫野市立明寺534-3  
TEL 092-918-3830 FAX 092-918-0255

大野城市

グループホーム

さわやかテラス大野城

〒816-0971 大野城市牛頭4丁目5-29  
TEL 092-513-7511 FAX 092-513-7512

グループホーム

さわやかテラス大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL 092-501-0352 FAX 092-501-0323

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家大野城中央

〒816-0942 大野城市中央2丁目5番19号  
TEL 092-501-0322 FAX 092-501-0323

春日市

グループホーム

さわやかテラス春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL 092-588-3307 FAX 092-588-3308

小規模多機能型居宅介護施設

さわやか憩いの家春日

〒816-0863 春日市須玖南1丁目91番地  
TEL 092-588-3531 FAX 092-588-3308

株式会社ウェルフェアネット本社

〒816-0864 春日市須玖北4丁目10番405  
TEL 092-582-0757 FAX 092-582-0847



検索してね！

検索 さわやかテラス